

10月28日正午必着

明石春浦先生書



雲林野思幽夢（倪瓚）
山林幽棲の感興。

明石幸子書



寺深松桂無塵事。

地接荒郊帶夕陽（李紳）

寺は松樹と桂叢の中に深くかこまれて幽邃閑寂である。



萬里秋風拂玉鞍
芙蓉直仰碧天看
日華浮動千年雪
散作扶桑九月寒

(江村北海)

見渡すかぎり広大なこの富士の裾野にも秋風が吹き、我が騎る鞍にも吹きつけてくる。馬上から富士の巔を仰ぐと群青の中空に純白な富士が雄姿をきわだたせている。巔に積もる千年の雪は日の光の中で風に吹き散らされてキラキラ輝き、それが下界に散って日本の秋寒むとなっているのだ。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

月鎖千門靜(張 祜)

月鎖して千門靜かなり

月光の下に町は眠っている。

千家山郭靜朝暉(杜甫)
百處江樓坐翠微

千家の山郭朝暉に靜かに
ひやくしょ 江樓翠微に坐す

秋興。

巴南舟中(岑 参)

巴南の舟中 岑 参

渡口欲黃昏 歸人爭渡喧
近鐘清野寺 遠火點江村
見雁思鄉信 聞猿積淚痕
孤舟萬里夜 秋月不堪論

渡口 黃昏ならんと欲し 歸人 渡を争つて喧し
近鐘 野寺に清く 遠火 江村に点ず
雁を見ては 郷信を思い 猿を聞きて 涙痕を積む
孤舟 万里の夜 秋月 論ずるに堪えず

女郎花 つかねて浸でし 白河の水さびしらに 降る秋の雨

(長塚節)

野山で折った女郎花を束ねて家の前の川に浸している白河村(京都)の川の流れに、寂しげに降りそそぐ秋の雨よ。

半紙部規定課題A

10月28日正午必着

汀 冬 細
洲 草
冬 緑

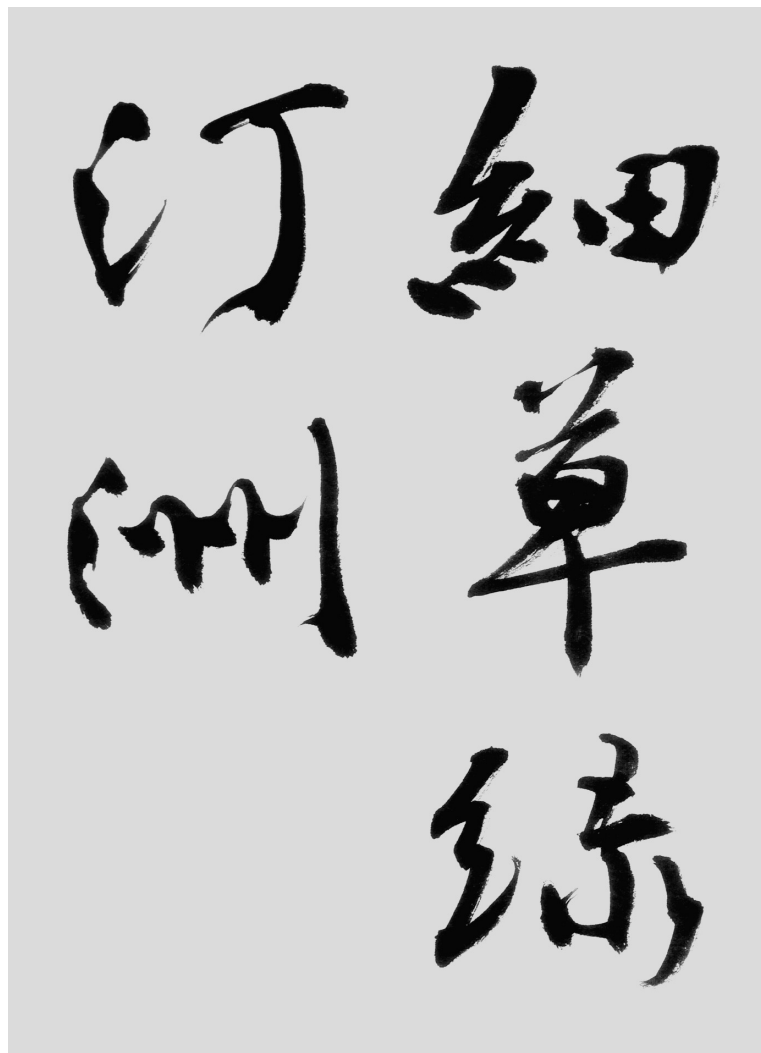
※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(五体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。



草書



行書

10月28日正午必着



隸書



行草書



篆書

※洲：本は州に作る

送王牧往吉州

謁中史君叔上

細草綠汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて史君叔に謁する
を送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帶し

文彩 旧と弓裘

野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

史君 小阮を憐れむも

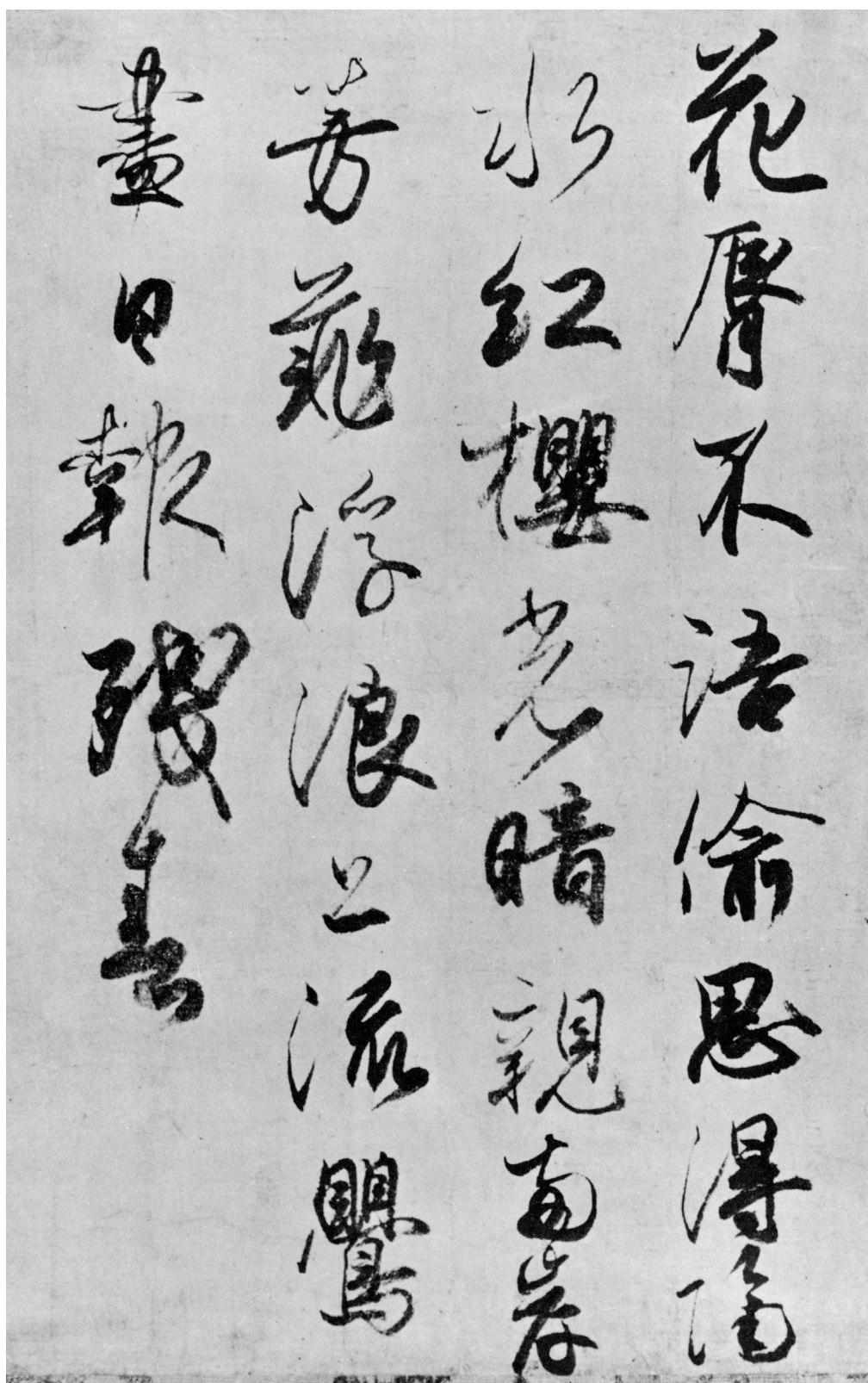
應に倚門の愁いを念うべし

細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る

やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかわかしだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受
けつぐ

野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
太守は甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

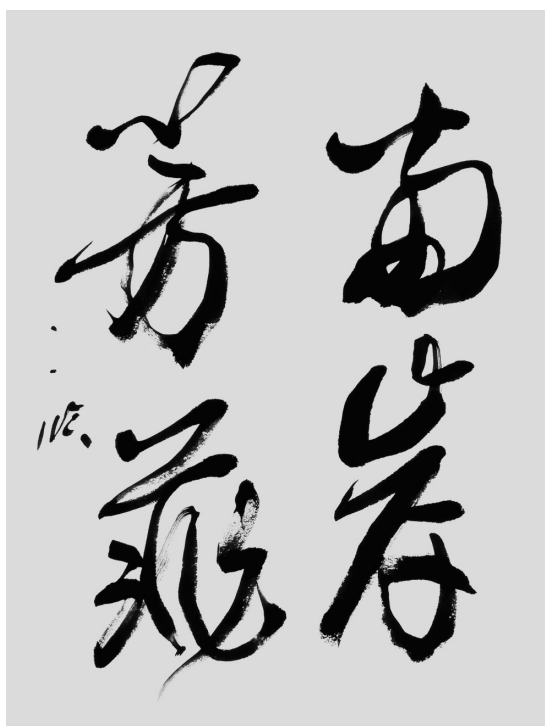
10月28日正午必着



花脣不語偷思得。隔水紅櫻光暗親。兩岸芳菲浮浪上。流鶯盡日報殘春。
 花脣語らざれども、偷かに思ひ得たり。水を隔つる紅桜光暗に親しめり。兩岸の芳菲浪の上に浮かび、流鶯尽日残春を報ず。



兩岸の芳菲浪の上に浮かび、流鶯尽日残春を報ず。



兩岸の芳菲

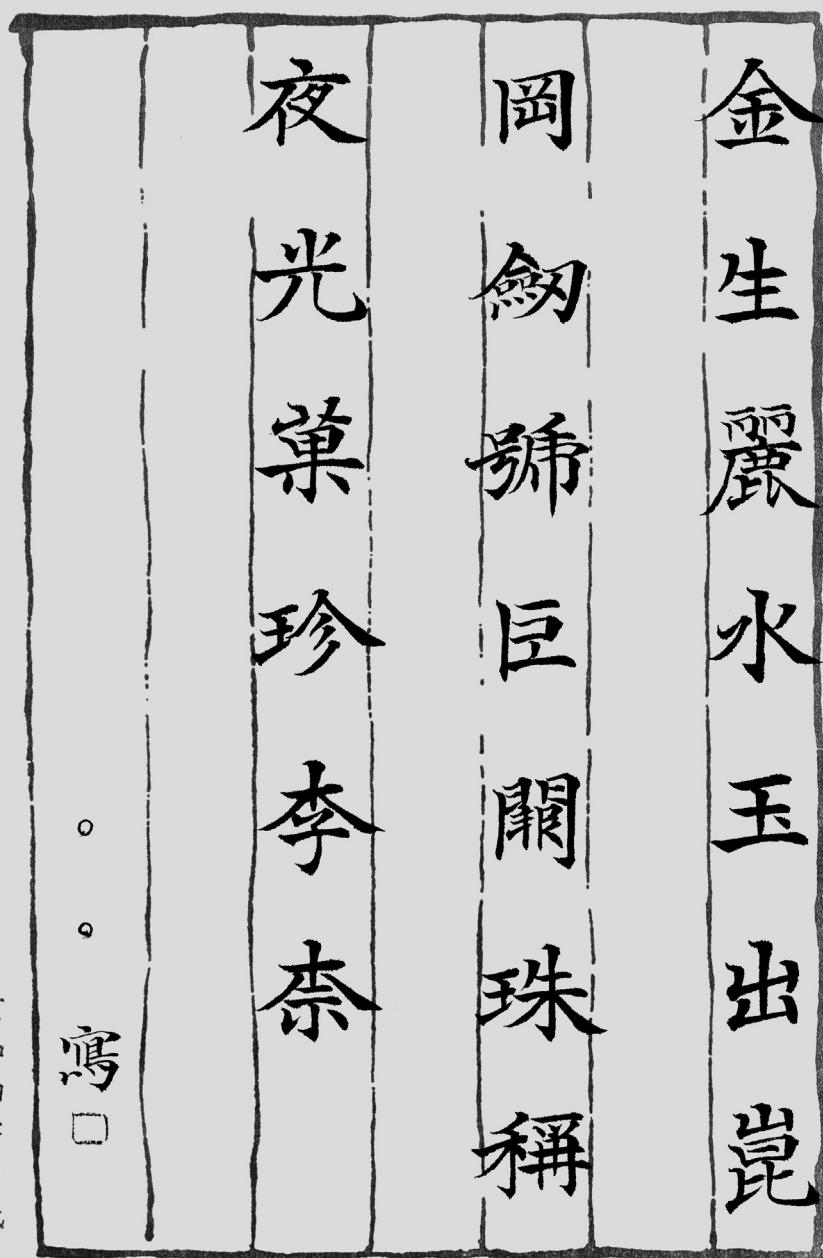
平安 詩懷紙・藤原佐理

藤原佐理（天慶七年～長徳四年・九四四年～九九八年）は藤原鎌足十二世の子孫で、摂政太政大臣藤原実頼の孫という名門に生まれながら、父の早逝と祖父の死により、最終官位は正三位にとどまった。しかし、佐理は権力には無関心で、その仕事ぶりも適当でわがままであったらしい。

ところが、書においてはその能書ぶりは有名で当代随一の名手と認められ昇進していったのである。（小野道風・藤原行成と共に三跡のひとりで「さり」とも称される）

この詩懷紙は安和二年（九六九年）三月十四日の祖父である太政大臣関白藤原実頼の小野宮殿における作文会の懷紙（七言絶句）とされている。左手に料紙を持って書かれた率意の書であって字形を端正に書くことはむずかしいが、自由に速く書いているので筆力と筆勢があり、墨色にも変化があり、細い点画にも強さがある。

二十六歳の時の筆跡であることから、若い時からすぐれた手書きであったことがわかる。（春濤）



玄和細字用紙

※用紙サイズ：半紙 $\frac{1}{2}$ タテ書き（毛筆）・玄和細字用紙（25枚綴り ¥550 | 税込、送料別）

西 墨濤先生書

わがやどの
きくのしらつゆ
今日ごとにくよつもりて
ふちとなるらむ

わがやどの
きくのしらつゆ
今日ごとにくよつもりて
ふちとなるらむ

わがやどの
きくのしらつゆ
今日ごとにくよつもりて
ふちとなるらむ



松永翠舟先生書

わがやどの
きくのしらつゆ
今日ごとにくよつもりて
ふちとなるらむ
(清原元輔)

10月28日正午必着

教育部毛筆

透明

雨宮春聲先生書

とう
透

めい
明

中学一年

無限

菅井松雲先生書

む
無

げん
限

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

よ
夜

みせ
店

小学五年



横川春川先生書

ほう
報

こく
告

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

10月28日正午必着



藤田幸春先生書

めい
名

せい
声

小学三年



細谷春誠先生書

は
羽

ごろも
衣

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

み ち 小学一年・幼年



森戸春濤書

さん かく 角 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

太陽のめぐみをうけた
黄金色したいなほたち

小学五年

灯台の光をたより
に暗い海を走る船

小学六年

自分の決めた道を
信じて歩いて行く

中学

秋の草むらに郷音きわ
たる虫たちのハーモニー

一般(級位)

雲は歩けぬはてたる秋の
を杉に残して月を見ふな

一般(段位)

雲は皆はらひはてたる秋風を松に残して月を見るかな(藤原良經)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

る	夕
赤	焼
と	け
ん	空
ぼ	を
の	さん
む	ぼ
れ	す

小学四年

か	山
か	の
る	入
一	り
本	ぐ
ば	ち
し	に

小学三年

き	う
	さ
ま	ぎ
ん	の
月	も
の	ち
夜	つ

小学二年

れ	た
う	の
ん	し
ど	い
う	た
か	ま
い	入

小学一年

ぎ	ば
	っ
く	た
つ	
わ	こ
む	お
し	ろ

幼年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。